

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年1月13日
【四半期会計期間】	第39期第3四半期（自 2020年9月1日 至 2020年11月30日）
【会社名】	株式会社ニューテック
【英訳名】	Newtech Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 柳瀬 博文
【本店の所在の場所】	東京都港区浜松町二丁目7番19号 KDX浜松町ビル
【電話番号】	03-5777-0888（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役副社長兼管理部長 宮崎 有美子
【最寄りの連絡場所】	東京都港区浜松町二丁目7番19号 KDX浜松町ビル
【電話番号】	03-5777-0888（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役副社長兼管理部長 宮崎 有美子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第3四半期 連結累計期間	第39期 第3四半期 連結累計期間	第38期
会計期間	自 2019年3月1日 至 2019年11月30日	自 2020年3月1日 至 2020年11月30日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高 (千円)	2,100,718	2,153,878	3,128,137
経常利益 (千円)	208,264	246,063	365,309
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	147,983	170,176	258,268
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	148,111	170,027	257,889
純資産額 (千円)	1,532,040	1,763,924	1,641,818
総資産額 (千円)	2,853,310	2,984,081	3,100,467
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	77.20	88.78	134.74
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.7	59.1	53.0

回次	第38期 第3四半期 連結会計期間	第39期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年9月1日 至 2019年11月30日	自 2020年9月1日 至 2020年11月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	24.53	8.96

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界規模での新型コロナウイルス蔓延の影響で、国内企業の業績に大きな打撃となり業績見通しは悪化する企業が大半であります。こうした状況の中、国内IT関連投資に関しても、新規の設備投資は大幅に落ち込み、先行きは全く不透明であります。このような環境の下、当社でも営業活動は在宅勤務やテレワーク及びWEBによる商談並びにセミナー等を推進して、活動を続けておりますが、通常よりも停滞感や不透明感が続いております。

このような環境の下、当社では利益率の高いハードウェアに付加価値を付けたAI・ディープラーニング、監視カメラ向けストレージサーバやアプライアンス製品の引き合いが良好で、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,153,878千円（前年同期比2.5%増）となりました。製品売上に関しては、OEM製品（ミラーカード、小型NAS製品等）の出荷は、379,255千円（前年同期比28.1%減）と減少しましたが、主力のRAID及びNAS製品については、大容量8～10TBのHDDを搭載したCloudyシリーズNAS製品のほか、第2四半期に於いて小型サーバの大口案件の受注獲得により、販売好調で1,228,327千円（前年同期比23.6%増）の実績を上げました。

これらの結果、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品売上高は1,712,662千円（前年同期比3.5%増）となりました。商品売上は、大口案件が少なく143,549千円（前年同期比18.6%減）となり、またサービス売上は、株式会社ITストレージサービスの取扱った他社製品の保守契約も加わり、297,666千円（前年同期比10.6%増）となりました。

以上の結果、損益面につきましては、売上総利益率の向上（前年同期比1.8ポイント増）により、営業利益244,397千円（前年同期比19.4%増）、経常利益246,063千円（前年同期比18.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益170,176千円（前年同期比15.0%増）とそれぞれ増益となりました。

品目別の売上高は、次のとおりであります。

品目別	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		前連結会計年度	
	自 2019年3月1日 至 2019年11月30日		自 2020年3月1日 至 2020年11月30日		自 2019年3月1日 至 2020年2月29日	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
	千円	%	千円	%	千円	%
ストレージ本体	1,521,459	12.2	1,607,583	5.7	2,256,369	11.9
周辺機器	133,736	66.7	105,078	21.4	177,298	30.3
製品小計	1,655,195	15.2	1,712,662	3.5	2,433,667	13.0
商品	176,347	22.7	143,549	18.6	319,983	9.5
サービス	269,176	12.2	297,666	10.6	374,486	16.7
合計	2,100,718	10.3	2,153,878	2.5	3,128,137	10.6

#### (2) 財政状態の分析

##### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して116,386千円減少し2,984,081千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して95,644千円減少し2,824,250千円となりました。これは主に、現金及び預金284,671千円の減少に対し、売上債権105,636千円、たな卸資産90,206千円の増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して20,741千円減少し159,830千円となりました。これは主に、建物、工具、器具及び備品等の有形固定資産11,786千円、繰延税金資産7,450千円の減少等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して217,621千円減少し1,141,737千円となりました。これは主に、仕入債務41,800千円、1年内返済予定の長期借入金77,015千円、未払金23,011千円、未払費用29,522千円、未払法人税等64,720千円、その他7,628千円等の減少に対し前受収益31,720千円の増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して20,871千円減少し78,418千円となりました。これは主に、長期借入金25,314千円の減少に対し、繰延税金負債4,379千円の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して122,106千円増加し1,763,924千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益170,176千円の計上に対し、配当金の支払い147,920千円があったことによる利益剰余金122,256千円の増加等によるものであります。自己資本比率は59.1%となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等に重要な変更はありません。

(4) 事業及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は67,350千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年11月30日)	提出日現在発行数(株) (2021年1月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,081,000	2,081,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	2,081,000	2,081,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月1日～ 2020年11月30日	-	2,081,000	-	496,310	-	105,515

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 164,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,915,800	19,158	-
単元未満株式	普通株式 1,100	-	-
発行済株式総数	2,081,000	-	-
総株主の議決権	-	19,158	-

【自己株式等】

2020年11月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ニューテック	東京都港区浜松町 二丁目7番19号	164,100	-	164,100	7.8
計	-	164,100	-	164,100	7.8

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、ひので監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,771,629	1,486,957
受取手形及び売掛金	876,304	981,940
商品及び製品	38,840	76,511
仕掛品	77,684	134,983
原材料	135,941	131,177
前払費用	14,955	9,378
その他	4,539	3,301
流動資産合計	2,919,895	2,824,250
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	20,525	18,647
工具、器具及び備品(純額)	41,507	31,599
有形固定資産合計	62,033	50,246
無形固定資産		
投資その他の資産	5,693	4,626
投資有価証券	80,389	80,173
繰延税金資産	7,450	-
差入保証金	23,767	23,767
長期前払費用	1,239	1,017
投資その他の資産合計	112,845	104,958
固定資産合計	180,572	159,830
資産合計	3,100,467	2,984,081
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	145,215	103,415
1年内返済予定の長期借入金	128,182	51,167
未払金	42,386	19,374
未払法人税等	82,939	18,218
製品保証引当金	23,956	21,445
未払費用	64,132	34,609
前受収益	839,759	871,479
預り金	9,003	5,872
その他	23,783	16,154
流動負債合計	1,359,358	1,141,737
固定負債		
長期借入金	92,781	67,467
繰延税金負債	-	4,379
資産除去債務	6,509	6,572
固定負債合計	99,290	78,418
負債合計	1,458,649	1,220,156



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	496,310	496,310
資本剰余金	510,925	510,925
利益剰余金	711,614	833,871
自己株式	78,265	78,265
株主資本合計	1,640,584	1,762,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,233	1,083
その他の包括利益累計額合計	1,233	1,083
純資産合計	1,641,818	1,763,924
負債純資産合計	3,100,467	2,984,081

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	2,100,718	2,153,878
売上原価	1,418,387	1,414,253
売上総利益	682,331	739,624
販売費及び一般管理費	477,559	495,227
営業利益	204,772	244,397
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	1,923	1,923
為替差益	2,839	1,873
助成金収入	720	1,440
受取販売奨励金	710	339
その他	614	1,351
営業外収益合計	6,816	6,937
営業外費用		
支払利息	1,899	745
売上債権売却損	1,248	1,394
解約違約金	-	3,098
その他	176	34
営業外費用合計	3,324	5,272
経常利益	208,264	246,063
特別損失		
固定資産除却損	1,333	-
特別損失合計	1,333	-
税金等調整前四半期純利益	206,931	246,063
法人税、住民税及び事業税	46,694	63,990
法人税等調整額	12,253	11,895
法人税等合計	58,948	75,886
四半期純利益	147,983	170,176
親会社株主に帰属する四半期純利益	147,983	170,176

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	147,983	170,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128	149
その他の包括利益合計	128	149
四半期包括利益	148,111	170,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,111	170,027
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループの業績に与える影響は軽微であり、当第3四半期連結累計期間以降も重要な影響がないという仮定に基づき会計上の見積りを行っております。

しかしながら、本感染症の収束時期は不透明であり、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
受取手形	40,799千円	- 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
減価償却費	20,340千円	21,197千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月15日 取締役会	普通株式	38,336	20.00	2019年2月28日	2019年5月14日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月13日 取締役会	普通株式	47,920	25.00	2020年2月29日	2020年5月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

当社グループは、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
1株当たり四半期純利益	77円20銭	88円78銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	147,983	170,176
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	147,983	170,176
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,916	1,916

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年1月8日

株式会社ニューテック

取締役会 御中

ひので監査法人

指 定 社 員  
業務執行社員 公認会計士 羽入 敏祐 印

指 定 社 員  
業務執行社員 公認会計士 宮下 圭二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニューテックの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年9月1日から2020年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニューテック及び連結子会社の2020年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。